

をしましたが、作付け状況と今後、個人農家への普及拡大について当町の考えを伺います。

A 本年度の作付け状況は、7軒の農家にて、28・2ヘクタールの作付けを実施し、142トンの収量がありました。今回、10アール当たり11・5俵収穫できた農家もあることから、今後は産地にあった移植時期や管理方法、適した肥料の栽培講習会や実績検討会等を実施し、更なる生産拡大につなげてまいります。あわせて（仮称）農業者所得向上拠点施設も活用できることから、現在、集荷するための出荷組合設立に向けた協議を進めており、さらなる生産拡大を図るために、中小農家においても作付け出荷が可能であるかを舞台ファームと協議検討してまいります。

（建設農政部長）

議席1番

佐怒賀 康輔 議員



英語検定の受験料値上げについて

Q 英検受験料が2024年度から値上がりすると発表されたが、当町が実施する英検受験無料についてはどうなる予定かを伺いたい。

A 令和6年度より300円（500円の値上げが予定されております。この検定は、身に付けた英語力を試すことのできる重要な成果の場となっていることから、引き続き、英語検定を無料で受験できるように取組んでまいります。

（教育次長）

空き家対策と移住について

Q 空き家増加問題について、当町の現在の状況と今後の取組について。また境町への移住者に対する移住後の要望調査や支援について伺いたい。

A 令和4年第1回定例議会において、佐怒賀議員からご質問いただいた空き家対策につきまして、今年度中にこの実態調査が完了する見込みであることから、調査

結果をもとに、空き家対策計画を策定してまいります。また、移住者アンケート調査を定期的に行い、これらの結果を分析して、今後は移住者用ガイドブックの作成も視野に入れて取組んでまいります。

（町長・企画部長）

議席3番

枝 史子 議員



学校給食について

Q 牛乳の一斉提供の見直しについて。

A 「学校給食法施行規則」により、学校給食では牛乳を提供することとなっています。また多種多様な食品の中でも牛乳は、人が生きる上で必要な栄養成分がバランスよく含まれた準完全栄養食品です。しかし、飲めない児童生徒に

つきましては、診断書の提出を求めることなく、保護者の申出により提供しておりません。今後も子どもたちの健康増進のため、牛乳摂取の必要性を指導していくように努めてまいります。

また、食育の観点から、今後ヴィーガン料理やハラル料理等の特別献立を年に1回程度できるように、検討してまいります。

（町長・教育次長）

Q 「黙食」状態の解消について。

A 当町では、机の配列は、すべての学校が「前向き」で会食しております。理由としましては、コロナ5類移行を受け、グループ給食に戻そうとしたタイミングで、インフルエンザ等の感染症が流行し、機会を逸してしまつたためです。

今後につきましては、各学校の自主性を尊重しつつ、美味しい給食が楽しく食べられるよう、この提供に努めてまいります。

（町長・教育次長）